



会長 菅原慶一
 幹事 小野寺伸浩
 会報 高田次雄 村上武彦
 森田峯男
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2662回例会 2018.9.20 No.11

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 仙台RCの加藤雄彦様を歓迎します。
- ・鈴木彦太会員 この度、登米秋祭りには菅原慶一会長、佐々木崇ご夫妻はじめ、多くのロータリアンに華を添えて頂き感謝申し上げます。
- ・布施孝之会員 仙台RC加藤様を歓迎申し上げます。
- ・村上武彦会員 9月22日はクリーンアップです。皆さんで参加しましょう。
- ・加藤亮会員 本日スピーカーをさせて頂きます。とりとめのない話となりますが、よろしく願い致します。
- ・飯塚仁哉会員 加藤亮会員のスピーチ、建築に関する話ですか。
- ・佐藤幸一会員 加藤亮会員のスピーチ、大いにご期待いたします。
- ・江川元徳会員 台風、地震ばかり。世界中、人権侵犯の事も多い。
- ・八谷郁夫会員 仙台クラブ加藤さん歓迎します。加藤亮会員のスピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 加藤亮会員のスピーチご苦労様です。
- ・高田次雄会員 早いもので秋彼岸を迎えました。24日には十五夜。月を眺めながら一杯、いいですね。遠ちゃん、待ってい~ま~す。
- ・猪股育夫会員 加藤亮会員のスピーチに期待します。午後1時30分から秋の交通安全大会のため早退。
- ・岩淵栄市会員 源ちゃん、退院おめでと。又元気で遊んでネ。
- ・佐々木崇会員以下 本日のスピーチに期待して。
 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 菅野幸一郎会員
 山田直志会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員

佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 布施孝尚会員 山田正会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 及川昭宏会員
 太田陽平会員 杉田広仁会員 大畑好司会員
 千葉正宏会員 二階堂恭子会員 後藤和人会員
 以上、ありがとうございます。

会長要件 菅原慶一会長

9月も中旬を過ぎ、生活をするにしても、仕事をするにしても適度な気候で、どこかに出かけるのも最高の時期、夏に疲れた体が徐々に回復してゆく感じがする今日この頃です。

今日は「基本的教育と識字率向上月刊」です。識字率、日本は100%だろうと思って資料を読んでいたたら、こんな記事が投稿されていました。「もはや日本の識字率は100%ではない、貧困が奪う、文字を読み書きできない子供たちの未来」という表題でした。

識字率とは、文字の読み書きができ、理解できる能力を持った人数の割合を指しているようで、日本人の識字率の高さは有名で、江戸時代の武士がほぼ100%、庶民層でも男子の半数は読み書きができたそうです。同年代のイギリス下層民は、大都市ロンドンでも10%程度の、子供しか字が読めなかったそうです。冒頭の記事は、ある関西の公立中学校の男性教諭の疑問でした。「授業で生徒に音読をさせると、漢字をほとんど読み飛ばす。自分の住所も書くことができない。そんな生徒はクラスに1人、2人ではない。」というものでした。そういった子供は実は家庭環境に問題のある確率が高い、さらにいえば、生活に困窮していることが問題だということでした。家庭において文字と接する機会が少なく、また教育環境もいいとはいえない、そんな環境の中で育った子供たちが、普通の大人になってゆくのは、かなり難しいことだとも書いていま

す。スマホ、パソコン、活字離れといったことも影響していることだとは思いますが、就学補助を受けている子供が、公立学校生徒の15%というの、大きな問題が既に発生している状況なのではないでしょうか。

今週の月曜日(9月17日)は敬老の日、布施孝尚委員長をはじめとする社会奉仕委員会のみなさんと、南方翔裕園で慰問の一環として踊りを披露してまいりました。笑顔のお年寄りと、ともに過ごす時間を通して、逆に我々元気をいただいたという感じでした。参加者のみなさんご苦労様でした。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・登米市立図書館より
 絵本原画展の協賛に対するお礼状が届く
- ・劇団ドリーム☆キッズより
 ミュージカル公演の協賛に対するお礼状が届く
- ・南方グループホーム翔裕園より
 翔裕園の慰問に対するお礼状が届く
- ・佐沼高等学校定時制課程E T Aより
 E T A創立50周年記念講演の案内
 日 時 10月17日(水) 17:30~19:00
 場 所 佐沼高等学校 会議室(1階)
- ・登米市産業経済部より
 産業フェスティバル出展者会議の資料が届く
- ・登米市剣道連盟より、感謝状贈呈について
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

各委員会報告

- ・環境保全委員会 (山田直志委員長)
 2018年登米市クリーンアップ湖沼群のお知らせ
 日 時 9月22日(土) 8:30~10:00
 場 所 長沼フットピア公園
 ※多数のご参加をお願いいたします。
- ・交換留学生特別委員会 (高橋利光委員長)
 テイラーさんの歓迎バーベキューを、クリーンアップ湖沼群終了後に行います。是非皆さんで盛り上げていただきたいと思います。
 送り出した暖さん、受け入れたテイラーさんともに慣れない環境で、体調を崩しましたが、それも落ち着き、2人とも頑張って学校に通っています。
- ・社会奉仕委員会 (布施孝尚委員長)
 9月17日(月)、南方の翔裕園に慰問に行きましてご報告いたします。
 9月30日(日)、登米市産業フェスティバルが開催されます。佐沼ロータリークラブとして出展いたします。ご参加していただける皆様、是非ご協力をお願い致します。次週の例会時にご参加いただける方のとりまとめを致しますので、よろしくお願い致します。

今週のスピーチ

加藤 亮会員

最近、自然災害が多く発生しております。最近の異常気象による災害から考えたいと思います。主に建築のことについてお話をさせていただければと思います。

資料として映像を作って参りましたので、それを見ていただきながら、話を進めてまいります。

世界的にも大きな災害が起きておりますが、日本に於いても、台風、地震と常に自然災害と向きあっておりますが、それを克服しているところでございます。最近の災害と申しますと、9月の北海道胆振東部地震です。死者11名、負傷者681名、住宅全壊82棟、大規模土砂崩れ等々。前の週には大きな台風が来て、関西地方を直撃し、死者13名、負傷者911名、住宅全壊9棟等、特に関西空港付近の被害が大きかった台風でした。7月、西日本で豪雨があり、平成30年7月豪雨と名付けられ、被害は甚大なものであります。

又、最近では猛暑が続き、熊谷では41.1℃を記録しており、宮城県でも過去最高気温37.3℃を記録し、熱中症の患者が多く出ました。

自然の猛威が襲ってきておりますが、それについて全部説明できませんので、その中の猛暑から身を守るという観点からお話をしてみたいと思います。

暑さから身を守る対策として、暑さを我慢しないでエアコンをつけて下さいと言うことです。単純に言いますとそうなのですが、その前に、エアコンの性能を上げるために、どういったことが必要かと言ったことですが、断熱が必要です。

1980年以前は、国の規制がさほどありませんで、無断熱で、国内の約39%が無断熱の住宅です。1980年代、1992年代、1999年基準というのがあり、それぞれ国の策があります。1990年代の基準は、いわゆる第二次オイルショックの時に、住宅をどんどん作れという時代でしたので、断熱ということにはさほど目を向けず住宅を作っていた時代がありました。それをだんだんに断熱をしっかりしていこうと言った基準になり、2013年に新しい基準が出来ました。更に厳しくなるのが、2020年で、省エネが努力から義務化されます。

そうしますと、住宅は断熱材を入れなくてもいいということではなく、全ての住宅に断熱材を使用し、省エネを企むという動きが、努力ではなく義務化することが、2020年から始まる予定です。

昔の住宅は、中が寒く暖房をしますので結露します。そのために壁などが痛む住宅が増えてきます。日本の住宅の平均寿命は30年とされているところですが、世界各国の住宅の平均寿命の一番長いのがイギリス、次いでアメリカ、フランス、ドイツというところですが、もちろん、そちらの住宅は木造でなく、非木造であるということもあります。それに比べ日本の住宅は寿命が短いです。

無断熱の住宅が登米市には多く、暑さ寒さから身を守ろうということで、建物の高气密・高断熱性能の向上をはからなくてはなりません。

断熱材には色々と種類があり、それぞれに長短があります。その中でセルロースファイバーというものがあり、現在、結構使われている断熱材で、古紙や繊維状のものと加工し、薬剤処理をして住宅の断熱材として使用しております。性能上一番高い断熱材です。

— 紙面の都合上、以下割愛させていただきます。